に 4 章では 73,728 項目が 32 項目に効率化できた。

・経験のない人でも正確な組み合わせテストがおこなえる。 組み合わせま順は確立しており、誰でも2月子問網羅索100%の

組み合わせ手順は確立しており、誰でも 2 因子間網羅率 100%のテスト項目を作成できる。但し、因子と水準の選択を誤るとテスト項目の品質が悪くなるので、因子と水準を決めるときには十分な検討を加えることが必要である。

5章で示した問題点と改善案を踏まえて直交表を活用することで、効果的な組み合わせテストを実施することができる。

